

☆東北管内の動き

1 「東北大豆セミナーin ふくしま」の開催概要

平成30年8月24日（金）に福島県南相馬市において「東北大豆セミナーin ふくしま」を開催しました。福島県内外から大豆生産者をはじめ、JA関係者、普及組織、行政機関など約130名が参加しました。

（1）室内検討会

① 第13回東北大豆ピカイチ大賞表彰式

東北ブロック豆類経営改善共励会審査委員長である東北農業研究センター菊池審査委員長の審査講評の後、東北農政局真鍋生産部長から東北地域大豆振興協議会長賞に選ばれた、南沼原営農団地組合 朝倉組合長へ表彰状が授与されました。また、受賞者から優良取組事例の発表が行われました。



<写真：右側が南沼原営農団地組合朝倉組合長>

＝審査講評＝

大豆集団の部：南沼原営農団地組合（山形県山形市）

南沼原営農団地組合は平成17年に5haのソバの転作組合として組織されました。その後地域の生産調整の担い手として面積を拡大し、22年から収益性の高い大豆を導入、受賞年の29年度は全ほ場の31haに大豆「里のほほえみ」を作付されております。

昨年度の実績において、単収は237kg/10aと山形県の平均単収142kg/10aを大きく上回っており、上位等級比率も約9割に上り、高品質・多収を達成しています。その背景といたしましては、土づくりに重点を置き、追肥技術による品質向上、確実な排水対策を実施している点などが挙げられます。加えて、新規就農者などの若手組合員の確保に努めるとともに、その若手を積極的に役員に登用し経営に参画できる体制をとるなど、組織の発展性が見込まれることを高く評価いたしました。



<写真：菊池審査委員長>